まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

「いわて純情米消費拡大月間」キックオフイベント

令和6年4月29日（月）

岩手県や本会で構成する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」は、4月29日（銀河のしずくの日）から5月29日（金色の風の日）の1ヶ月間を「いわて純情米消費拡大月間」として、いわて純情米の認知度向上・消費拡大のPRに取り組んでいます。

消費拡大月間が始まる4月29日に、県内外でキックオフイベントを実施しました。

千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合「銀河のしずく・岩手のひとめぼれデー」

本会は、4月29日に千葉県のZOZOマリンスタジアムで開催された千葉ロッテマリーンズの試合に「銀河のしずく・岩手のひとめぼれデー」として冠協賛しました。

千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサーである本会は、同球団所属で岩手県出身の佐々木朗希選手を「いわて純情米」アンバサダーに起用しています。

当日は、入場ゲートにて先着20,000名に「銀河のしずく」のパックごはんや、佐々木選手のオリジナルグッズをプレゼントしました。また、球場外周ブースでは、岩手県産りんごジュースやシナノゴールドの試食・試飲会や岩手県産米が当たる抽選会などを行いました。

試合前には、球場でセレモニーを行い、伊藤清孝県本部運営委員会会長から千葉ロッテマリーンズの吉井理人監督へ「銀河のしずく」429kgを贈呈しました。伊藤会長は「一度食べてもらえれば、おいしさには自信がある。全国の方にブランドを知ってもらいたい」と期待を寄せました。

その後の始球式では、達増拓也岩手県知事がファーストピッチをつとめると、力強く投げられた一球は見事捕手に受け止められました。達増知事は「ちゃんと球が届き、始球式として成り立って安心した。幸先も良く、岩手県産米の消費拡大もこの調子でどんどん広げていきたい」と意気込みを語りました。

試合前セレモニーの様子はこちらから▶

https://www.youtube.com/watch?v=MM6I1ra-UgA

JA全農いわて公式YouTubeチャンネル▲

盛岡駅でおにぎりを配布

協議会は、4月29日に「銀河のしずく」と「金色の風」のおにぎりを配布するイベントを盛岡駅で開催しました。

「いわて純情米応援団長」の天津木村さん、岩手まるごとおもてなし隊のマジカル河童ちゃんも参加し、帰省客らで賑わう盛岡駅で、岩手県産米のオリジナル品種「銀河のしずく」と「金色の風」のおにぎりが駅利用者へ手渡されました。

天津木村さんは「子どもに『お米と言えば』と聞いて、『銀河のしずく』や『金色の風』と答えるようになったらいいなと思う。岩手においしいお米、あると思います！」と話し、いわて純情米の認知度向上を期待しました。

おにぎりを受け取った子どもは「ちゃんと味わって食べたいと思う」と笑顔を見せました。

「いわて牛」のブランド力強化へ

令和6年4月16日（火）

第24回いわて牛後継者枝肉研究会

いわて牛普及推進協議会と本会は4月１６日、「第２４回いわて牛後継者枝肉研究会」を、雌１７頭、去勢１７頭、計３４頭の出品により東京食肉市場（株）で開催しました。

この研究会は、岩手県内主要産地の次世代を担う後継者が肥育した和牛肉牛を一堂に会し、生産者及び購買者との情報交換と相互理解を深め、今後のいわて牛の肥育技術の確立と肉質の向上並びに経営意欲の高揚を図ることを目的に開催されています。

枝肉審査において、最優秀賞に奥州市の髙橋幸浩さん（JA江刺）の出品牛が選ばれました。最優秀賞の牛は父「茂晴花」母の父「百合白清２」祖母の父「耕富士」、雌で、枝肉重量５１２kg、BMSNo.１２、ロース芯面積８４㎠でした。審査講評にて、ＪＡ全農ミートフーズ（株）東日本営業本部牛肉営業部市場課の齋藤貴志さんは「雌らしい体形でモモの張りと抜けが良く、造りがしっかりしていて素晴らしかった」と講評しました。

髙橋さんは「自家産で立派な牛に育て、最優秀賞を受賞する事ができて嬉しい。これを励みにもっと良い牛をつくれるように頑張りたい」と笑顔を見せました。

最優秀賞を受賞した髙橋幸浩さん

最優秀賞の枝肉

小学生が卓球全国大会目指し熱戦!

令和6年5月6日（月）

岩手県産農畜産物で子どもたちにエール

岩手県卓球協会主催の「全農杯2024全日本選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）岩手県予選会」が5月６日、花巻市民体育館で開催されました。県内各地から95名の小学生が参加し、ホープス（小学6年生以下）男子の部、女子の部、カブ（同4年生以下）男子の部、女子の部、バンビ（同2年生以下）男子の部、女子の部の各階級で個人戦が行われました。

本会では、卓球競技をサポートし、子どもたちの健やかな心身の成長と未来の夢を応援するため、公益社団法人日本卓球協会主催の「全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）」に、平成25年から特別協賛をしています。

今回は副賞として、入賞選手に「岩手県産豚ロース」や「銀河のしずく5kg」などを贈呈したほか、参加賞として「賢治の里いわて花巻果汁100%りんごジュース」と「ニッポンエール岩手県産山葡萄グミ」を提供しました。

開会式では、本会管理部の菅原千賀子次長が「おいしい岩手県産農畜産物を食べて、全国大会への出場をめざして頑張ってほしい」とあいさつしました。

各階級の3位までの入賞者は、7月26日～28日に兵庫県神戸市で開かれる全国大会へ出場します。

ホープス男子の部決勝リーグの様子

入賞者へ岩手県産農畜産物を贈呈しました

地元の小学生が声援送る

令和6年5月10日（金）

達増知事が岩手県オリジナル品種「金色の風」田植え

JA岩手ふるさと金色の風栽培研究会などが主催の達増拓也岩手県知事による「金色の風」の田植えが5月10日、奥州市のほ場で行われました。

金色の風は、2017年にデビューした岩手県の最高級ブランド米で、柔らかさと粘りのバランスが良く、余韻の残る甘みとふわりと軽い食感が特徴です。

この日使われた田植機は、自動運転機能で蛇行せずまっすぐに植え付けができる最新機種で、達増知事自ら田植機を操縦し、苗を植え付けました。奥州市立常盤小学校の5年生約100名も応援に駆け付け、田植えを体験した達増知事は「小学生のみなさんの応援が大きな力になった」と話しました。また、「生産者のみなさんの技術の高まりにより、『金色の風』は年を重ねるごとに評判が高まってきている。ブランド価値を高めて、より良い値段で買っていただき、農家の収入も高くなるようにしたい」と意気込みを語りました。

地元小学生の声援を受けながら田植えをする達増知事

達増知事や生産者らで記念撮影

岩手の太陽の恵みを受けて

太陽光発電設備の設置

（株）いわちくは、豚処理加工施設に「自家消費型太陽光発電設備（PPA）」を設置しました。今後の脱炭素社会に向け、再生可能エネルギーを活用した電力の利用により、地域の環境価値向上を図ることを目的としています。

同施設に、全農エネルギー（株）が太陽光発電設備（太陽光パネル：1,062枚）を設置し、自家消費型PPA（電力購入）契約を締結します。（株）いわちくでは、再生可能エネルギーの導入は初めての事例となり、令和6年6月からPPAサービスの運用を開始します。

このことにより、同施設の年間使用量の約9．5%が再生可能エネルギーで補われております。また、事業全体で年間約255トンのCO_2削減につながります。

今後も、環境や社会に配慮した生産体制の構築を目指すとともに、太陽光を利用した再生可能エネルギーを活用し、持続可能なより良い未来へつながる取組みをしていきます。

自家消費型太陽光発電設備（PPA）を設置した株式会社いわちくの豚処理加工施設

生産指導課・酪農課の取り組みについて

1．暑熱対策強化事業について

換気システム等の導入費用の一部を助成し、酪農経営を支援する事業です。

近年の猛暑に対応するための暑熱対策を実施する酪農家の方々を支援するため、今年度より新しく始めました。

■事　業　名：暑熱対策強化事業
■補助内容：換気システム等の導入に対し、事業費の 30%を助成。
　　※換気扇本体、細霧装置、電気工事、断熱材、寒冷紗など
■上　　限：30 万円 / 戸

今年も猛暑となる予報があるため、ぜひ積極的にご活用ください。

2．空胎乳牛摘発効率化事業について

PAG（妊娠関連糖蛋白）検査利用に係る経費の一部を助成する事業です。

乳牛の妊娠確認を効率的に行い、空胎牛を早期に摘発することで空胎日数を短縮し、安定的な生乳生産を行うことを目的としています。（令和 5 年度 PAG 検査実績数：3,464 件）

■事　業　名：空胎乳牛摘発効率化事業
■補助内容：PAG 検査利用に係る経費に対し1検体あたり 400 円（不課税）を助成。

PAG 検査とは

■血液・乳汁中の物質で妊娠を判定する検査
（受精後 28 日以降、または分娩後 60 日以降の乳汁が検査対象）
■従来の検査（直腸 / エコー検査）と組み合わせて使用することが可能

タイミングに応じた目的別の検査例

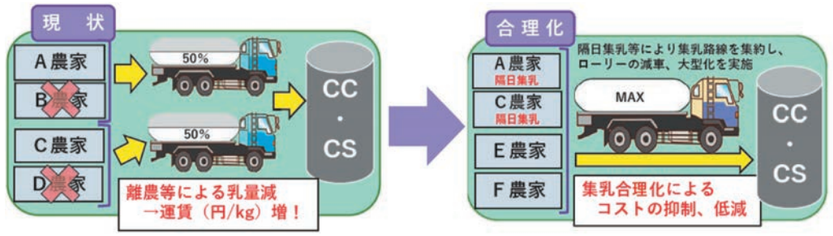
■AI 後 28 ～ 35 日目の検査　：空胎牛の早期発見
■AI 後 65 ～ 75 日目の検査　：胚死滅・流産の発見
■AI 後 100 ～ 120 日目の検査：妊娠中期の流産を発見
■妊娠後期　：乾乳前の妊娠確認

■詳しくは、農協またはJA全農いわて 畜産酪農部 酪農課［TEL：(019)626-8662］へお問い合わせください！

3．集乳体制合理化事業について

生乳流通コストの生産者負担の軽減を図るために、集乳の合理化（集乳の効率化、県内隔日集乳の実施拡大）を関係農協と一体となって推進し、その取り組みを積極的に支援します。

■集乳回数半減、集乳路線数の削減　⇒ 輸送距離の短縮、一輸送あたりの乳量増による燃料代の抑制
■路線見直しによるローリーの減車、大型化 ⇒ 集乳車の維持管理コストの低減



今後も集乳体制の合理化に向けて、関係機関一体となって進めてまいります。

4．酪農ヘルパーについて

■認知度向上と人材確保に向けた取り組み
- SNS、WEB での広告配信（Instagram、YouTube、Google）
- インターンシップの実施（令和 5 年度の参加者：12 名）

■協力体制の構築
利用組合を越えた協力体制の構築に向けてサポートし、酪農家のゆとりの確保、労力確保を支援します。

5．酪農理解醸成･牛乳消費拡大

■消費拡大事業
- キャンペーンの実施
- 各種イベントでの牛乳配布
- テレビ CM の放送

■酪農理解醸成事業
- 県内小学校を対象とした酪農出前授業（令和 5 年度実施数：24 校）
- Instagram での情報発信

IWATE_NO_GYUNYU
いわての牛乳Instagramはこちら ▲

6．受精卵移植による生産性向上の取り組み

■新ET システム受精卵移植
乳牛・肉牛の改良と畜産酪農基盤の維持拡大を目的として、ホルス X 受精卵、和牛受精卵の移植に取り組んでいます。（令和 5 年度実施数：約 1,300 頭）
今年度も引き続き、成績の向上に努めていきます。

■乳牛借り腹受精卵移植
不受胎牛を中心とした乳牛を受精卵移植で受胎させ、飼養牛更新率を下げることを目的に実施しています。移植にあたり農家負担がなく、生まれた和牛産子を早期に F1 価格で引き取ることにより、個体販売収入と哺乳作業の軽減が図られます。
不受胎でお困りの際は気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ先　JA全農いわて 畜産酪農部 生産指導課［TEL：(019)626-8660］

みんなの分教場

ハウス果菜類の夏期高温対策について

園芸部
生産振興戦略室
三田　重雄

今年も夏は暑いとの予報です

本県の夏秋果菜類は、いわゆる雨よけ栽培が主流ですが、ここ数年夏期高温によりハウス内が生育適温を超え、落花（果）や障害果の発生等を招き生育や品質に著しい影響を及ぼし生産性が低下しています。

昭和の終わりから平成にかけては、夏季冷涼な気候を活かして野菜の生産振興に取り組んできましたが、令和の時代は、夏期高温対策を本気で考えなければ安定生産が難しい時代になりました。気象庁が発表した今年の夏も高温になるとの長期予報を踏まえ、しっかり対策を講じて乗りきりたいものです。

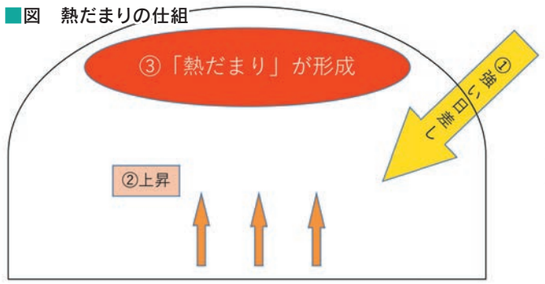
高温対策を三つの視点で考える

本県のハウスは一般に軒が低いことから高温になりやすく、「熱だまり」による影響を受けやすい構造になっています（図）。したがって、高温対策の基本は（1）換気をしっかり行い風通しを良くする、そのうえで、（2）遮熱、（3）遮光の各技術の導入を進めましょう。

（1）については、換気扇や肩換気等が効果的です。（2）と（3）は混同しがちですが、体にこたえる暑さの主たる要因は熱、ということを考えると熱の入り込みを防ぐことが重要で、一般には遮熱効果の高い塗布剤が利用されています。（3）は遮光幕の利用が有効ですが、遮光率の高い資材を使用すると品目によっては徒長等生育に影響を及ぼす場合がある他、遮光する時間帯も重要です。資材選定や遮光方法は地域の指導機関に相談してください。経験測を踏まえると優先順位は（1）→（2）→（3）になります。

なお、環境制御技術の一環として導入が進みつつあるミスト噴霧はハウス内気温の低下を促す効果があります。

■図　熱だまりの仕組



- 熱を伴った空気はハウス上部にたまりやすい
- 軒の低いパイプハウスはより熱気がたまりやすい
- ①→②→③の順で熱だまりが形成される

植物が健全に育つ環境を整えることが重要

これまでは、物理的な対策をお伝えしましたが、蒸散作用が滞ることなく行われることがとても重要です。蒸散作用により気化熱が発生し一種の冷房効果を発揮します。そのためには根をしっかり張らせ吸水力を高めるとともに、適正な栽植密度を守り茎葉を繁茂させることです。茎葉が繁茂し草勢がしっかり保たれることで一種の「群落」が形成され、蒸散作用の促進とともに強い日差しの入り込みを防ぐ効果が期待できます（写真）。

物理的な対策だけに頼ることなく、どのような環境を整えると植物が健全に育つのか、を頭におきながら本県産野菜を心待ちにしている消費地への安定供給に向け暑さ対策をしっかり行いたいものです。さあ、がんばりましょう！

■写真　県本部ミニトマト（品種：アンジェレ）
栽培：R5年度～。特徴はA遮光ネットの展張　B茎葉をしっかり繁茂　Cホルモン処理の徹底　D適正着果（摘果）。ABCにより暑さを克服し、CDにより着果・品質が安定。単収6.57t／10a。

いわて純情むすめ卒業

2023 Iwate Junjo Musume GRADUATION

1年間「純情産地いわて」のPR活動をしてくれた5名は今月末で卒業を迎えます。
いわて純情むすめはこれからも純情産地いわてを応援します！

村中（むらなか）　咲心（さきみ）

岩手は温かいところだと身に沁みて感じることのできた1年間はとても楽しく、とても大切で貴重な時間でした。食を通じて多くの方々とつながることで様々な学びや新しい発見があり、視野を広げることができました。これからも岩手の農畜産物を応援し続けます！

多くの方々の支えや応援があったからこそ、岩手県の魅力あふれる農畜産物を笑顔で楽しく発信することができたと思います。本当にありがとうございました！

阿部（あべ）　愛（めぐみ）

この1年間はとても濃いものになりました！活動する前は「岩手の魅力って何なんだろう…」と思っていましたが、「岩手にはおいしくて食べたら元気になる農畜産物が沢山ある！」と今は自信を持って伝えることができます。

また、自分なりに農畜産物を使ったレシピを考えてみたり、他県から来た友人にもお米の魅力を伝えたり、自分の行動の幅も広がった気がします！目標だった「海外の方にPRしたい」を叶えることができて嬉しかったです！ 1年間、本当にありがとうございました！

鷹觜（たかのはし）　萌香（もえか）

岩手県の農家さんや農業に関わる方々との交流を通じて、岩手県の農畜産物の魅力を改めて感じることができました！食事や料理の楽しみも増し、家族や友人からも、買ったお米やお肉が美味しかったという報告を受けるたび、とても嬉しく思います！私の純情むすめとしての目標は岩手県の未知の魅力を探ることでしたが、この1年間は素敵な思い出で溢れています。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

岩槻（いわつき）　日菜（ひな）

全国のスーパーを回って岩手の農畜産物の試食販売をしました。どこへ行っても食材の味や香りを高く評価していただき、「農家さんにこの声が届きますように！」と思いを込めてSNSで発信していました。活動を楽しみながらも、「岩手の農畜産物を知るきっかけを作れるかどうかは自分の声掛け次第」と責任感を持って全うでき、自信に繋がりました。純情むすめと関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました！

髙橋（たかはし）　美有（みゆ）

「何もないもんね」そんな言葉を聞き流すしかなかった1年前、私が感じていた故郷の豊かさを伝えられなかった1年前、そんな私は堂々と「岩手には沢山あるんだよ」と伝えられる私になりました。人の手が加わらない、物が「ない」土地には、豊かな自然・農畜産物、そこに住む人々の暮らしがあります。これらは人の心を豊かにする「ある」です。この「ある」がこの先も沢山の人々に伝わっていきますように！

「いわて純情むすめ」の名のとおり、地域のむすめのように皆さんに温かく接して頂けたことが私の心を更に豊かにする1年でした。本当にありがとうございました！

消費地だより

純情ブランド消費地の「今」をリポートします。

畜産販売課
木村　丈治

第24回 いわて牛後継者枝肉研究会

4月16日、東京食肉市場において県本部主催で今年度最初のイベント、「第24回いわて牛後継者枝肉研究会」が開催されました。このイベントは、岩手県内主要産地の次世代を担う後継者が肥育した和牛肉牛を一同に会し、生産者及び購買者との情報交換と相互理解を深め、今後のいわて牛の肥育技術の確立と肉質の向上、並びに経営意欲の高揚を図ることを目的として、岩手県内で和牛肥育経営している年齢が45歳以下の生産者及び後継者、また農協が推薦する教育施設で学んでいる生産者が去勢17頭・雌17頭の計34頭を出品し、開催されました。

最優秀賞は、岩手江刺農協の髙橋幸浩様が受賞され、2,989円の枝肉単価がつきました。出品牛は全体的に肉質・脂質が良い「いわて牛」が多く散見され、上物率100%という数字からも分かるように、生産者のひたむきな努力と日頃から牛たちへの愛情が結果として現れました。

イベント前日には、これまでコロナ禍で中止していた懇談会が4年ぶりに開催され、産地と消費地の情報交換や生産者と購買者の親交を深める場として、有意義な時間となりました。

また、他産地の若手生産者との情報交換の場を提供するべく「第1回新世代合同枝肉勉強会」を令和6年3月28日に東京都内において実施することが出来ました。

この会は、東北3県（岩手・宮城・福島）の若手生産者の交流と情報交換をすることで、生産意欲の高揚と技術の研鑽により、各産地の銘柄牛の確立や東北地域の肉牛生産の拡大、経営の安定につながることを目的として開催され、枝肉販売会では、「いわて牛」が初代グランドチャンピオンを獲得することができ、レベルの高い勉強会となりました。初めての開催に携わることができ、この勉強会がこれからの世代に長く受け継がれていく良い機会となればと思っています。今後も、畜産業の未来を創る若手生産者や後継者へ肉牛生産基盤対策等を実施することで支援していきます。

日頃よりご愛顧いただいている首都圏の方々からは、「『いわて牛』はおいしい！」とご好評いただいております。これからも精一杯販売促進と高値販売に努め、「いわて牛」の魅力を発信し続けていきます！

第24回いわて牛後継者枝肉研究会 最優秀賞の枝肉

第1回新世代合同枝肉勉強会 グランドチャンピオン賞の枝肉

第1回新世代合同枝肉勉強会 集合写真

入賞区分	ＪＡ	氏名	性別	枝肉重量	単価	販売金額
最優秀賞	JA江刺	髙橋　幸浩	雌	512kg	￥2,989	￥1,530,368
優秀賞	JAいわて花巻（北上）	千葉　洋喜	去勢	571kg	￥2,610	￥1,490,310
優秀賞	JAいわて花巻（北上）	髙橋　良太	去勢	562kg	￥2,791	￥1,568,542
優良賞	JA岩手ふるさと（水沢）	倉成　孝人	雌	482kg	￥2,705	￥1,303,810
優良賞	JA新いわて（雫石）	横森　啓太	雌	427kg	￥2,606	￥1,112,762
優良賞	JAいわて平泉	千葉　輝明	去勢	589kg	￥2,525	￥1,487,225

販売成績	頭数	平均枝肉重量	平均販売単価	平均販売金額	上物率
今回成績	34 頭	511kg	@2,407	￥1,226,438	100%
前回成績	36 頭	521kg	@2,565	￥1,332,900	100%

JA全農いわての純情人（じゅん じょう びと）

米穀部
米穀販売課
川村（かわむら） 真理（まり）さん

◉趣味・特技

漫画鑑賞

◉現在の担当業務

お米を県内、県外の倉庫から販売先の工場まで輸送手配をかけ、データ入力を行っています。

◉これからどんな職員になってみたいか

覚えることも多いですが、皆さんをサポートし、お米について誰よりも詳しい職員になりたいです。

◉その他アピールポイント

まだまだ慣れないことだらけですが、銀河のしずくなど岩手県産の食材の魅力をより広く知っていただけるよう頑張ります！

JAタウン いわて純情セレクト

「純情産地いわて」から、選りすぐりの農畜産物を販売しています。 いわて純情セレクト

https://www.ja-town.com/shop/c/cB4/　オススメ商品盛りだくさん！詳しくはこちらから▶

いわちく販売会開催!!　6月24日（月）～7月15日（月）

JAタウン「いわて純情セレクト」では今年もいわちく販売会を開催します。いわて牛五ツ星の人気商品がお得に購入できるほか、即食ディナーセットや福袋等の限定商品を販売します。また、早期予約期間にご注文の先着500名様に限り対象商品が1,000円引きになります。ぜひご利用ください。

■早期予約期間：6月24日（月）～6月30日（日）　先着　500名様　1,000円引き
■本開催期間：7月1日（月）～7月15日（月）　先着1,000名様　500円引き

いわて牛五ツ星ロース しゃぶしゃぶ用　500ｇ

価格　通常価格9,700円（税込・送料別途）
→早期予約期間：8,700円
本開催期間：9,200円

いわて牛五ツ星肩ロース すき焼き用　500ｇ

価格　通常価格9,700円（税込・送料別途）
→早期予約期間：8,700円
本開催期間：9,200円

いわて牛五ツ星肩ロース 焼肉用　500ｇ

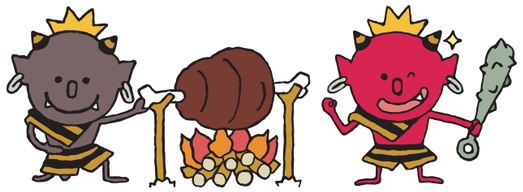
価格　通常価格9,700円（税込・送料別途）
→早期予約期間：8,700円
本開催期間：9,200円

高原育ちのフレッシュウインナー 詰め合わせ

価格　通常価格3,150円（税込・送料別途）
→早期予約期間：2,150円
本開催期間：2,650円

いわちく即食ディナーセット

価格　通常価格4,450円（税込・送料別途）
→早期予約期間：3,450円
本開催期間：3,950円



純情産地発 KLARA
JA全農いわて通信 クラーラ 令和6年6月1日発行 No.899
【編集・発行】JA全農いわて 総合企画課 【印刷】株式会社 杜陵印刷

編集後記

今月の特集では、千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合の様子をお伝えしました！
プロ野球の観戦は初めてでしたが、会場の熱気に包まれてとても楽しかったです！
ネフタリ・ソト選手の応援歌が頭から離れません～。（西川）

KLARA タイトルのKlara（クラーラ）は、宮沢賢治の手帳にしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなのよい食プロジェクト 食は日本の未来 JAグループ

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ
〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号　TEL019-626-8615　FAX019-653-6145
https://www.junjo.jp

VEGETABLE OIL INK